

2024年9月13日

各位

株式会社北洋銀行

株式会社北海道共創パートナーズ

## 有限会社道央興産様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)と子会社の株式会社北海道共創パートナーズ(代表取締役社長 岩崎 俊一郎)は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、有限会社道央興産様(北海道札幌市、代表取締役 増川忠弘様)が本サポートを利用し『サステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

当行は今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

### 会社概要

会社名	有限会社道央興産
所在地(本社)	札幌市東区北47条東17丁目1-32-701
所在地(作業場)	勇払郡安平町遠浅695番地 株式会社北海道畜産公社早来工場内
代表者	代表取締役 増川忠弘
業種	食肉加工業

※サステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。  
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

# 有限会社 道央興産

## サステナビリティ経営方針

私たちは、現状に満足することなく「思いやり」の気持ちを持ち、職員とその家族が笑顔で過ごす会社を目指しつつ、自社の価値向上、地域社会に安心・安全な食肉を提供することに努めます



### 経営ビジョン

職員、その家族が笑顔で働ける職場を作る

当社は、人と食肉に優しく『思いやり』を持って常に接しています

### 事業に影響を与える環境変化

### 重要課題（マテリアリティ）

### 取組内容

### 主なステークホルダー

#### 環境

- 脱炭素に向けた社会変化
- 自然災害の激甚化
- 自然保護への規制強化
- フードテックの革新による代替食品の台頭

1 最高の技術を通じた食肉の安定供給への貢献

- ① 三位一体（安全・衛生・収益）の事業活動
- ② 熟練した技術力の発信

従業員・取引先  
生産者・消費者・株主

#### 社会

- 人口減少・少子高齢化
- 価値観やライフスタイルの変化
- 世帯構造・社会構造の変化
- タンパク質の争奪激化によるサプライチェーン寸断リスク

2 職員満足度と企業価値の融合

- ① ダイバーシティの推進
- ② 従業員ファーストとなるワークライフバランスの推進

従業員・地域社会

#### 経済 ガバナンス

- 原材料価格の高騰
- 道内産食肉需要の高まり
- 新型コロナによる産業構造の変化
- 情報セキュリティへの対応
- 企業の社会的責任に対する重要性の高まり

3 地域・社会におけるプレゼンスの向上

- ① ガバナンス強化による信頼獲得
- ② 積極的な地域貢献活動

従業員・取引先  
地域社会

4 持続可能な自然資源への取り組み

- ① 環境負荷低減の取り組み
- ② 食品ロス削減の徹底

環境・地域社会  
取引先

# サステナビリティ経営への取り組み

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当社が将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。

重点テーマの取り組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。

2024年9月 有限会社 道央興産

## SDGs達成とマテリアリティへの取り組み

### 経済・ガバナンス

当社は、コンプライアンスを徹底し、経営の透明性を高め製品の安心安全に配慮した経営を行います。

#### 【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】



- ・丁寧な技術指導による歩留まり向上
- ・検品の精度向上
- ・外部主催競技会への参加
- ・食品安全方針の遵守、講習会等の定期的な実施

- ・機械化による作業効率の向上
- ・業務効率化のための定期的な意見集約
- ・社員会総会の定期的な開催
- ・現場事故ゼロの継続

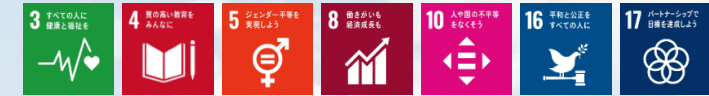
#### 【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
最高の技術を通じた食肉の安定供給への貢献	三位一体(安全・衛生・収益)の事業活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 毎年の歩留まり率を74.5%以上を維持する</li> <li>■ 2024年度末までに動画作業マニュアルを整備する</li> </ul>
	熟練した技術力の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 毎年外部主催の競技会へ職員2名が参加する</li> <li>■ 2026年度末までに教育制度を整備する</li> <li>■ 2030年度末までにカッティング技術向上研修サービスの事業化を行う</li> </ul>
地域・社会におけるプレゼンスの向上	ガバナンス強化による信頼獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現場事故ゼロを継続する</li> </ul>

### 社会・地域

当社は、ダイバーシティを積極的に推進し、地域社会に密着した経営を目指すことで、社会に貢献してまいります。

#### 【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】



- ・同一労働同一賃金を就業規則に明記
- ・特定技能者、障害者雇用の推進
- ・時間外労働の管理
- ・健康診断、人間ドック受診向上

- ・メンタルヘルス対策の実施
- ・福利厚生を目的とした社内イベントの実施

#### 【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
職員満足度と企業価値の融合	ダイバーシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2026年度末までに人材育成方針を策定する</li> <li>■ 2027年度末までに人事評価制度を刷新する</li> <li>■ 2028年度末までに外国人材の比率を10%以上にする</li> </ul>
	従業員ファーストとなるワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 毎年組織診断を実施し評価を前年比5ポイント向上させる</li> <li>■ 時間外労働を毎年10%削減させる</li> <li>■ 2028年度末までにISO30414に沿った人的資本マネジメント体制を構築する</li> </ul>
地域・社会におけるプレゼンスの向上	積極的な地域貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2025年度から、毎年福祉施設への協賛を行う</li> <li>■ 2026年度から毎年職員による地域貢献活動を実施する</li> <li>■ 2026年度末までに広報活動委員会を設置し、以降毎年PR活動を発信していく</li> <li>■ 2027年度から地元人材を毎年1名採用する</li> <li>■ 2027年度末までに地元学生向けの職場見学会を実施し、2030年まで継続する</li> </ul>

### 環境

当社は、地球環境問題を経営上の重要な課題の一つとして認識し、持続可能な社会の実現に向け、事業活動による環境負荷低減への取り組みを実施します。

#### 【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】



- ・歩留まり向上によるフードロス削減への貢献
- ・小肉落下対策による資源活用への取り組み

- ・業務効率化による消費エネルギーの削減
- ・包装資材の削減による脱プラスチックへの貢献

#### 【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
持続可能な自然資源への取り組み	環境負荷低減の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2025年度末までにCO2排出量の算定を行い、削減に向けた取り組みを進める</li> <li>■ 2030年度末までに2028年度比電力エネルギーの消費を5%削減する</li> </ul>
	食品ロス削減の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2026年度末までに落下小肉を前年度比3%削減させる対策を実施する</li> <li>■ 2029年度末までに2025年度比廃棄物排出量を5%削減させる</li> </ul>